

この「広報ひこね」は42,050部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。



ぜひご覧ください

舟橋聖一顕彰文学賞

授賞式

舟橋聖一顕彰文学賞

▼文学奨励賞

小・中学生、高校生の読書創作活動を振興するため、作文、紀行記録、随想などの作品を公募し、「舟橋聖一顕彰文学奨励賞」を贈ります。

▼青年文学賞

全国の青年を対象に、小説や随筆、戯曲などの分野で、広く作品を公募し、文学の登竜門として、「舟橋聖一顕彰青年文学賞」を贈ります。

舟橋聖一文学賞

国宝・彦根城築城400年の開催を機に、彦根市の発展を図るために創設した賞です。

文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、名誉市民である舟橋聖一の文学の世界に通ずる優れた文芸作品に対し舟橋聖一文学賞を贈ります。

対象作品 小説

基準日など 平成19年8月1日を基準日として、同日より前の1年以内に刊行された単行本であること

授賞式の日程

日時 10月21日(日) 午後1時30分～同3時

場所 彦根プリンスホテル プリンスホール(松原町)

内容 第22回舟橋聖一顕彰文学奨励賞、第19回舟橋聖一顕彰青年文学賞、第1回舟橋聖一文学賞各賞授与、主催者あいさつ、来賓祝辞、講評(各選考委員)

授賞式に参加する人を募集します

舟橋聖一顕彰文学賞、舟橋聖一文学賞授賞式に参加する人を募集します。第1回舟橋聖一文学賞選考委員講評では、選考委員(プロの作家)が、プロの作品を厳しい角度から講評します。

作家を目指している人、文学作品を違った角度から楽しみたい人などご参加をお待ちしています。
募集人数 100人(先着順)

参加費 無料

応募方法 次のいずれかの方法で申し込んでください。

▼往復はがき 往信の裏面に、住所、氏名、電話番号、希望人数(一通につき2人まで)を、返信の表面に返信先の住所、氏名を記入して、申し込んでください。

▼彦根市ホームページ トップページにあるトピックス「舟橋聖一顕彰文学賞・舟橋聖一文学賞授賞式参加者募集について」からお入りいただき、専用の入力フォームに入力してください。

▼市立図書館窓口 備え付けの申込用紙に必要事項を記入して申し込んでください。

募集期間 9月15日(土)～10月5日(金)(必着)

申込・問い合わせ先 市立図書館内 舟橋聖一記念文庫(〒522-0001 尾末町8-1)
☎22-0649番、FAX 26-0300番、Eメール: tosyokan@mx.hikone.ed.jp

ご長寿

おめでとうございます

今年の敬老の日は9月17日です。長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者の皆さんに感謝し、長寿を祝う日です。この日にちなみ、市内の最高齢者(男女)をご紹介します。



伊藤 平兵衛さん
明治35年10月24日生まれ
(104歳)



田中タケさん
明治35年11月17日生まれ
(104歳)